

広報

こだま

2017

Vol.27

【栗田病院 広報誌】

入社式・新入職員紹介 広報散歩

栄養課

フォーカス くりた人

精神保健福祉士 大垣晴香

栗田ダイアリー

行事・イベント紹介



有朋会・理念 ～私達の求める姿～

私たちの使命は、患者様、利用者様、ご家族様、地域連携機関、地域住民、有朋会職員と
いったあらゆる方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをともすこと、笑顔を増やし続ける
ことです。その使命を果たすことで、以下3つの姿を実現します。

1. 医療・介護・福祉を統合した高品質のサービスを設計・開発し提供し続けている。
2. スタッフみなが有朋会の一員であることに胸を張っており、患者様、利用者様、ご家族様に
質の高いサービスを提供している。
3. 働きたい・学びたいと希望する方が絶えることなく集まってくる。



医療法人社団 有朋会
栗田病院

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505
TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com
<http://www.yuhokai-kuritah.com/>

平成29年度 入社式

平成29年4月1日(土)、11名の職員を新たに迎え
新入職員入社式を行いました。
理事長や院長から歓迎と激励の言葉が贈られま
した。
新入職員一人ひとり紹介され、代表者からの挨拶
が終わると、緊張した皆さんも次第に和らいで、期
待に胸がいっぱいという表情でした。
みなさんの今後の活躍が楽しみです。



新入職員コメント

○ 外来リハビリテーション課 配属

作業療法士 寺久保佳那



有朋会は今年で50
年。節目の年に入職で
きたことを嬉しく思い
ます。様々な人が利用
し、職員として働くこ
とで、伝統が受け継が
れ、私の中の中の1人
として働けるのかと
考えると大変感慨深いです。失敗を報告しやすい環
境であることやコミュニケーションを大切にしてい
ることから、職場の雰囲気や大切に、働きやすい
環境であると感じました。

今後の目標としては、有朋会の一員として恥じぬよ
う、社会のマナーを学びながら人として成長してい
きたいです。また、医療人としては臨床現場で学べるも
のを吸収しながら、チームで作り上げる質の高い支援
を模索していきます。笑顔溢れる優しい先輩方に、教
えていただきながら、有資格者であるという自覚や責
任を忘れずに、貢献していきます。

○ 自立訓練(生活訓練) 事業所くりの実 配属
精神保健福祉士 峠野勝



私は、大学を卒業し
期待と不安の中、栗田
病院に入社いたしま
した。大学四年時の実
習の際に実習生とし
てこの栗田病院で学
ばせていただく機会
があり、病院の雰囲気
に惹かれ、大学卒業後、栗田病院で働きたいと思
じたことを今でも鮮明に覚えています。
今回、念願の栗田病院に入社することができ、私

は精神保健福祉士として、患者様、利用者様の思い
や意見を尊重した支援をしたいと考えています。そ
のため、これから精神保健福祉士の先輩の方々、多
職種の方々にご指導を頂きながら、自身の技術を磨
き、栗田病院の一員として一日も早く、患者様、利
用者様の力になれるように精進していきます。

○ 認知症治療病棟 配属

看護師 大内宏美



看護学校在学中、栗
田病院で実習させてい
ただきました。日々
の関わりの中でスタッ
フが学生に対して丁寧
にご指導くださった
こと、様々な職種の
スタッフ同士がコミュ
ニケーションを大切にしながら業務している姿がと
ても印象的でした。また、有朋会の理念である『私
たちの使命は、患者様、利用者様、ご家族様、地域
連携機関、地域住民、有朋会職員といったあらゆる
方々の「こころ」に、温かな(ホットな)灯りをと
もすこと、笑顔を増やし続けること』という理念に
共感でき、このような温かな環境下で「看護師とし
て新しいスタートを」という思いが強かったため栗
田病院に入職することを決意しました。

私の看護観は「寄り添った看護」です。配属とな
ったマロン病棟(認知症治療病棟)は、治療に必
要な医療・介護だけでなく、患者様やそのご家族様
の生活の質を向上させる援助、患者様一人ひとりの
個性に応じた関わりを重視している病棟です。現在、
看護業務の流れや看護技術の習得のため先輩
看護師よりたくさんご指導いただいております。患
者様の長年の人生を踏まえた上で寄り添う気持ちを
大切に、患者様やご家族様の笑顔を増やしてい
きたいと考えています。そして、信頼される看護師を
目指し、自己研鑽していきたいと考えています。

広報散歩

「栄養課」

健康な生活を送る上でとても重要な食事や栄養。
今回は当法人でそのほとんどを管理してくれてい
る栄養課で働く管理栄養士2名に話を伺いました。

部署の紹介・栄養課の役割

沼 現在栄養課には管理栄養士が常勤3名、給食委託
業者(栄養士、調理師)17名が勤務しています。
当法人では多い日で1日900食近くの食事を提
供しています。その献立や調理を給食委託業者が、献
立内容のチェックや治療食※1への献立展開につい
ては、私たち栄養課が担当しています。

栄養課の役割はこうした給食管理だけでなく、栄
養管理や栄養教育も重要です。

栄養管理の面では、法人内でNST(栄養サポー
チーム)を運営し、栄養面から患者様へのアプロ
チを行っています。精神科で治療を受ける方には不
規則な生活の影響などから低栄養や糖尿病、脂質異常
症になる方も多く、私たち管理栄養士が中心とな
って、医師や看護師、薬剤師、作業療法士とチーム
医療の一つとして活動しています。入院患者様に対
してはSGA※2を用いて、入院後一週間以内に管理
栄養士と看護師でアセスメントも行っています。

河西 栄養教育として
は、外来での栄養指導
がその中心となりま
す。糖尿病や脂質異常
症に代表される内科疾
患をお持ちの方で医師
が必要と判断した方に
対し、月1回程度実施
しています。現在一ヶ
月で20件弱の栄養指導
を行っています。
以上のような部署で



管理栄養士 沼里砂 管理栄養士 河西有希子

の業務の他に脳活性化デイクエアに参加しています。脳
活性化デイクエアとはMCI※3の方を対象とした認知力
アップが目的のデイクエアで、私たち管理栄養士は月1
回の調理プログラムを担当しています。旬の食材を使
用したり、栄養素や品種に着目するなど、栄養士なら
での知識を活かしてプログラムに取り組んでいます。
新人歓迎会や納涼祭など法人で開催されるイベン
トにも積極的に参加し、食事に関してのサポートも
全面的に行っています。

当法人で感じるやりがい

河西 人数の少ない部署ですが、病院全体の栄養管理
に関わる事は大きなやりがいです。先に挙げた通り、
様々な視点や立場から管理栄養士としての力を
発揮できるので、私たちの活躍の場は広がっている
と実感しています。

その中でも脳活性化デイクエアのプログラムに参加す
るようになった事は大きな経験となっています。プロ
グラムを通して利用者様が日々変化していく様子や、
提供するサビスを喜んでいただく姿を見るととても
嬉しく感じます。私たちの担当する調理もそうですが、
一つの作業をみんなで行える事はコミュニケーション
の活性化に繋がり、よりよいサビスを提供したいと
思えるモチベーションにもなっていますね。

栄養課のこだわり

沼 当たり前のように思われるかもしれませんが、「お
いしい食事を提供する事」です。

栄養のバランスや旬の食材を使うのはもちろん、彩
りや食材・味付けの被りなど細かいところにもこだ
わります。魚など人気のない食材は味付けを工夫す
るなど、おいしく食べてもらうため日々研究したり、
食べられない食材は別のもの代用するなど、一人
ひとりに合わせた対応もしていますね。どの医療機
関よりもおいしい食事を提供できていると思います。

七夕やクリスマスなど季節の行事や法人の創立記
念日などは、デザートや豪華な食材を使うなどイベ
ントメニューも充実させています。

患者様との関わり

河西 病棟にお邪魔した時な
ど、入院中の患者様がよく話
しかけてくれます。みなさん
食事にはとても興味を持って
くれているので、その日のメ
ニューを訊かれたり、食べた
もののリクエストなどもよく
受け付けます。そういった
リクエストは、実際にメニューに反映する事もある
ので、嗜好調査の一環ですね。



以前より取り組んでいるのですが、入院中に誕生日
を迎えた方にはケーキとパスデイクカードをお渡しし
ています。より充実した入院生活を送っていただくた
めの栄養課からのプレゼントですね。

これからの栄養課の目標・展望を 教えてください。

沼 入院患者様の栄養管理がこれからの課題です。先
述の通り精神科の患者様には栄養面でのアプロ
チが必要な方がたくさんいます。必要に応じた栄養剤
の選定や、治療食の適切な管理など、これからやり
たい事は山積みです。血液検査など定期的なモニタ
リングを実施してそれぞれにあった栄養管理を実践
していきたいです。食思不振の方にもアプロチし
ていきたいと考えています。新しい食種を検討し、
患者様の選択の幅を広げていきたいです。

これらに加え、地域への貢献も意識していきたい
です。私たちの参加している脳活性化デイクエアを初
めとして、病気の予防に関する当法人の取り組みは
今後さらに注目される分野だと思います。管理栄養
士としての知識やスキルを磨きながらもっとも
成長していきたいです。

※1 治療食：内科疾患(糖尿病、脂質異常症など)の治療を目
的とした食事。
※2 SGA：主観的包括的栄養評価。栄養状態を主観的に評価
する方法の一つ。
※3 MCI：軽度認知機能障害。正常と認知症の中間にあ
たり、認知症の前段階と言われている。

フォーカス くりた人



精神科急性期治療病棟（サクラ病棟）
精神保健福祉士 大垣晴香
当院で働く、現場職員の声をお伝えします。

配属部署での役割や業務

私はサクラ病棟で精神保健福祉士として勤務しています。当院に新規で入院される患者様のほとんどはサクラ病棟で受けており、栗田病院の入院の窓口となっています。入院期間3ヶ月での退院を目指しているので、回転の速い病棟と言えます。

私の主な業務は、患者様がスムーズに入退院できるよう調整を行う事です。患者様やご家族様から入院の相談があった場合まず主治医に相談し、入院の必要があるか判断を仰ぎます。この際気を付けているのは患者様やご家族様の想いをきちんと主治医に伝える事です。一番困っている事はなにか、患者様とご家族様で意見が食い違ってないか、ケースによってはうまく話が進まず、必ずしもご希望に添えない場合もあります。入院に繋がる大事な場面なので、細心の注意を払って対応しています。

不安を持ちながら栗田病院を頼って相談してくれているので、傾聴の姿勢を忘れず、その不安を少しでも取り除けるような対応を心がけています。

病棟での治療が進み退院の時期が近づくにつれて退院調整が始まります。この時期にも精神保健福祉士として大事な役割があります。それは退院後の生活に目を向けてもらう事です。自宅に戻るのか施設も検討するか、通所や訪問サービスは利用するか、など退院後の生活に関する調整も必要です。その方にあった福祉サービスを利用してもらうためにたくさんの方の情報を集めていかなければなりません。間違った情報

を伝えないように、市町村に問い合わせたり、先輩にきいたりする事もあります。サクラ病棟では主治医を中心として私たち精神保健福祉士や看護師、作業療法士や臨床心理士が集まりカンファレンスが定期的に行われています。ここで精神保健福祉士の調べた情報が役に立つのです。

その他にも入院患者様の情報をまとめてデータ化したり、入院に必要な書類を整理するのも私たちの仕事です。

患者様との関わり

病棟で勤務していると、患者様からよく話しかけられたり悩みの相談を受けたりします。そういった何気ない日常の会話を大切にしています。サクラ病棟は入院期間3ヶ月を目標としているので、患者様の入れ替わりの多い病棟です。一人ひとりと関われる時間は限られているので、患者様が話をしたいと思ったタイミングで聴けるように、忙しいから後でと断るような事はなるべくしないようにしています。相談の内容は様々ですが、頼って聞いてくれる事は単純に嬉しい事です。「相談してよかった。」と安心した表情をさせていただいた時はとてもやりがいを感じます。

「話をよく聴く」という姿勢は、学生時代に学んだ経験が大きい事です。傾聴は精神科で働くスタッフにとっても重要なスキルで、患者様の意見を尊重し、その思いや言葉を医師や看護師に伝える事は精神保健福祉士の大切な仕事です。

時には対応の方法で迷う事もあります。そんな時は先輩スタッフを参考にしています。当法人には精神保健福祉士が20名以上いるので、電話対応や会話中の細かい言い回しなど、先輩スタッフのスキルを習って学べる機会が多いです。

精神保健福祉士を目指したキッカケ

高校生の時に陸上部のマネージャーをしていたのですが、部員から悩み相談を受ける事も多く、今思えば「話をよく聴く」姿勢はこの頃からできていた

かもしれません。ちょうどその頃、母が福祉関係の仕事に就いていた事がきっかけでデイサービスにボランティアに行くようになり、精神保健福祉士という仕事を知りようになりました。実習先は栗田病院ではなかったのですが、今の配属先と同じ急性期病棟でした。精神疾患を持った方との関わりは難しい事も多く初めは戸惑いましたが、反面、関係を深めて患者様の考えている事が理解できるようになると、やりがいや面白みを感じるようになりました。



これからの自分、今後の目標

サクラ病棟の精神保健福祉士としてもっと成長したいです。急性期病棟なので、チーム医療実践のため多職種の方と関わる機会も多いと思います。その機会を無駄にしないように、広い視野で知識をつけていきたいです。その上で自分の意見をきちんと伝える事のできるスタッフでありたいです。患者様の入院生活にはたくさんのスタッフが関わっています。それぞれの意見を取り入れ、患者様やご家族様にとって一番よいサービスが提供できるようにしたいです。人と人を繋ぐ精神保健福祉士の仕事はコミュニケーションが必要不可欠です。そういった他スタッフとの関係作りも意識していきたいです。

よりスムーズな入退院の調整やカンファレンスの内容改善など、出来る事はたくさんあると思います。今後更にサクラ病棟に貢献できるように、私にできる事を模索しながら日々の業務に取り組んでいきたいです。

栗田ダイアリー

栗田病院が開催した行事やイベントを紹介します。

2017
1

1月4日（水） 新年初顔合わせ
1月13日（金） 認知症事例検討会
常陸太田市地域包括支援センター共催
1月21日（土） 認知症家族教室

2017
2

2月4日（土） 統合失調症家族教室 ★
2月18日（土） 認知症家族教室 ★

2017
3

3月2日（木） 認知症疾患医療センター研修会
3月4日（土） 統合失調症家族教室
3月8日（水） 認知症疾患医療センター連携協議会
3月11日（土） 脳活性化デイケア体験会 ★
3月25日（土） 認知症家族交流会

2017
4

4月1日（土） 入社式、新入オリエンテーション
4月8日（土） 家族交流会



2017年3月11日（土） 脳活性化デイケア体験会

昨年度より開始している脳活性化デイケアの無料体験会を実施しました。

MCI（軽度認知機能障害）の方や認知症を予防したいという方を対象としたデイケアで、

楽しみながら「こころ」と「脳」と「からだ」を活性化するプログラムを実施しています。

認知症やその予防の知識を持った専門スタッフが運営しています。



2017年2月4日（土） 統合失調症家族教室 2017年2月18日（土） 認知症家族教室

当院では、統合失調症や認知症と診断された患者様のご家族様を対象に家族教室を開催しています。

家族教室では病気に関する知識や社会資源情報の提供、ご家族様同士の意見交換などを行っています。

不安や悩みをご家族様だけで抱え込まず、この機会を通してみなさまの介護負担が少しでも軽くなる事を願っています。



診療案内

外来担当医一覧表

	診察室	月	火	水	木	金	土
午 前	1 診	栗田	疋田	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	安部	高橋	堤	木滝	堀	第2週 鈴木 第3,5週 吉川
	3 診	堤	早坂	木滝	早坂	疋田	高橋
	5 診				翠川	井出	翠川
午 後	1 診	栗田	田中	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	安部	高橋	木滝	木滝		
	3 診		佐藤	竹下			
	5 診						

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。
2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。

※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

■ = 内科

〈午前の部〉 〈午後の部〉
受付時間 8:30～11:30 / 11:31～16:00
診察時間 9:00～ / 13:30～

*精神科外来は完全予約制になります。
*当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。
予約電話対応時間 月～土（祝日を除く）9:00～17:00 TEL.029-298-0175

関連施設

地域生活支援事業部

障害福祉サービス事業所 自立訓練(生活訓練) ショートステイ

「くりの実」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505 TEL&FAX.029-295-1834

障害福祉サービス事業所 グループホームくりの木

「第一くりの木」「第二くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7652

「くりくり」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681

「くりあん」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2 TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

認知症デイサービス

「クリクリ瓜連」 〒319-2103 茨城県那珂市中里1365-7 TEL.029-270-9550 FAX.029-270-9558

「クリクリ住吉」 〒310-0844 茨城県水戸市住吉町20-6 TEL.029-248-1001 FAX.029-248-0215

「クリクリ市毛」 〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2 TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263

「クリクリ金上」 〒311-0022 茨城県ひたちなか市金上1031-1 TEL.029-271-1607 FAX.029-271-1608

小規模多機能型居宅介護施設・認知症グループホーム

小規模多機能ホーム「クリクリ」・認知症グループホーム「クリクリ」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰140-17 TEL.029-352-0016 FAX.029-298-7750

認知症グループホーム「クリクリ田彦」

〒312-0063 茨城県ひたちなか市田彦950-48 TEL.029-275-8701 FAX.029-275-8702

認知症疾患事業部

アクセスマップ

